



Dainichiseika

2026年3月期 決算補足説明資料

彩りの、その先へ。

今日の未知は、未来への道

大日精化工業株式会社

2026年5月15日

2026年3月期 通期実績

	実績	2025年3月期比
売上高	1,242億円	△4億円 △0.4%
営業利益	76億円	+6億円 +8.6%

- 自動車向けのコンパウンド・着色剤は堅調に推移、ウレタン樹脂は採用車種の不振により低迷
- 液晶ディスプレイ向け顔料は新製品への採用により好調、コーティング剤は堅調に推移
- 原材料価格高止まり、海外法人減益も、販売価格の是正、高付加価値品へのシフトにより営業利益は増益

2027年3月期 業績予想

	予想	2026年3月期比
売上高	1,266億円	+23億円 +1.9%
営業利益	84億円	+7億円 +10.4%

- 自動車向け、液晶ディスプレイ向けは、2026年3月期に引き続き堅調に推移する見込み
- 中東情勢による原材料調達・価格及び販売動向は織り込まず

株主還元

	2026年3月期	2027年3月期 予想
1株当たり 年間配当金※	220円 (190円+30円)	55円 (47.5円+7.5円)
配当総額	37.5億円	37.5億円

- 2026年3月期1株当たり通期配当金220円と64円増配
- 2027年3月期1株当たり通期配当金予想55円
(実質的には2026年3月期と同額)
- 中期経営計画3か年平均の総還元性向は50%以上を目指す

※ 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2027年3月期の配当金予想については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割の影響を考慮しない場合の2027年3月期の年間配当金予想は220円（普通配当190円+特別配当30円）となります。2026年3月31日を基準日とする2026年3月期の期末配当金については、株式分割前の株式数を基準に実施する予定であります。



2026年3月期 連結決算 連結損益計算書

単位：億円・切捨	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減 (対前期実績)	増減率 (対前期実績)	2026年3月期予想 (2月13日開示)	達成率
カラー&ファンクショナル プロダクト	673	690	+17	+2.6%	679	101.7%
ポリマー&コーティング マテリアル	253	241	△12	△4.8%	239	101.0%
グラフィック&プリンティング マテリアル	320	310	△9	△3.0%	310	100.2%
売上高※1	1,247	1,242	△4	△0.4%	1,230	101.1%
カラー&ファンクショナル プロダクト	31	41	+10	+32.1%	40	103.5%
ポリマー&コーティング マテリアル	31	25	△5	△17.7%	26	99.5%
グラフィック&プリンティング マテリアル	7	8	+1	+19.1%	8	106.7%
営業利益	70	76	+6	+8.6%	76	100.1%
経常利益	77	84	+7	+9.4%	85	99.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	102	81	△21	△21.3%	75	108.0%
EBITDA※2	119	127	+8	+6.8%	127	100.3%
研究開発費※3	11(18)	10(18)	-	-	-	-
海外売上高比率	27.1%	25.7%	△1.4pt	-	-	-
1株当たり当期純利益※4	149.91円	118.32円	△31.59円	-	109.85円	-
ROA	4.0%	4.2%	+0.2pt	-	-	-
ROE	8.4%	6.1%	△2.3pt	-	-	-
為替レート	\$152.36円	\$150.20円	2.16円 円高	-	\$148.00円	-
ナフサ価格	75,625円	65,200円	△10,425円	-	67,000円	-

※1 「収益認識会計基準」適用により、売上高に含まれる有償受給材料を売上原価と相殺表示している金額 2025年3月期 405億円 2026年3月期 395億円

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

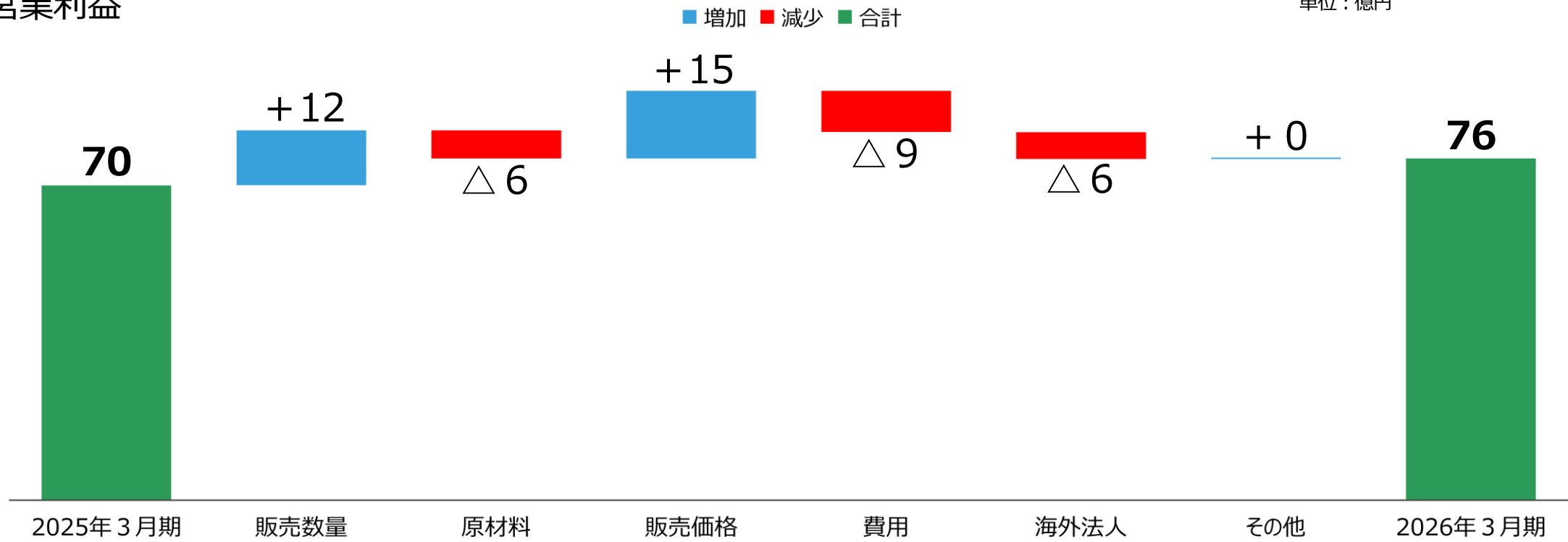
※3 () 内は、既存製品の改良等で発生した技術関連費用

※4 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2026年3月期 連結決算 増減要因 (2025年3月期 vs 2026年3月期)

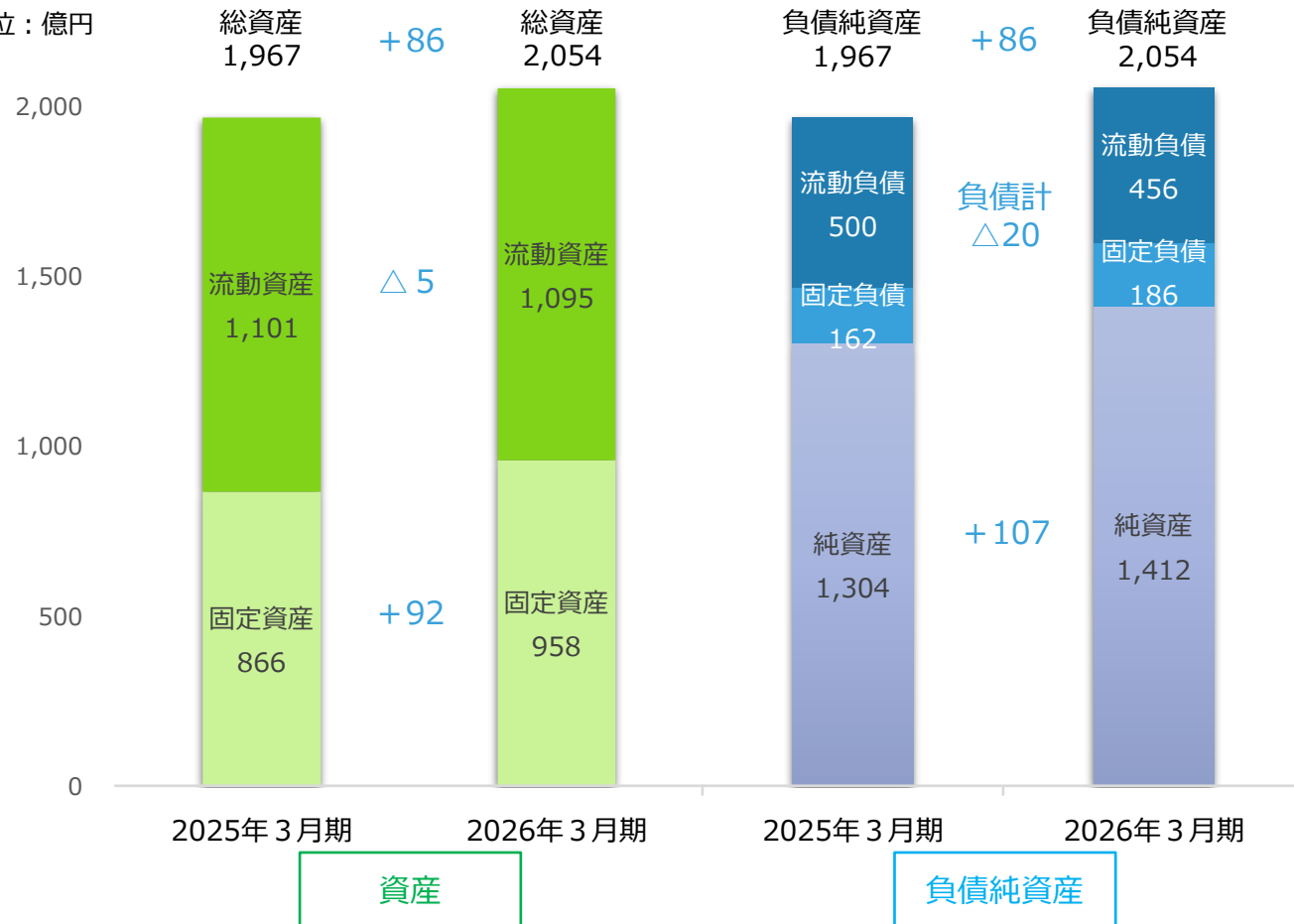
営業利益

単位：億円



2026年3月期 連結決算 連結貸借対照表

単位：億円



	2025年3月期	2026年3月期	増減
有利子負債	210億円	187億円	△23億円
DEレシオ	0.16	0.13	△0.03
自己資本比率	65.0%	67.5%	+2.5pt
1株当たり純資産額※1	1,864.79円	2,030.85円	+166.06円

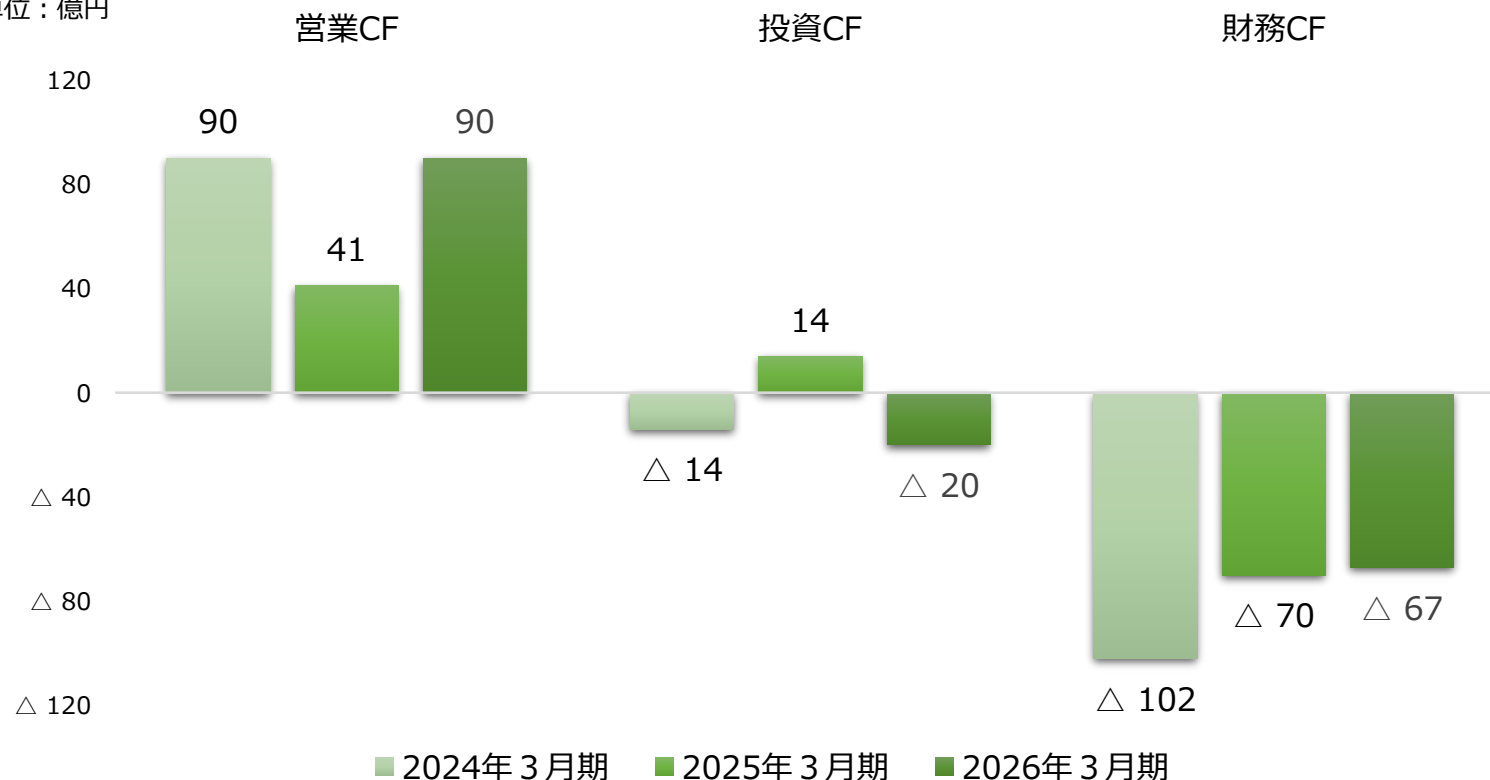
※1 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2026年3月期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

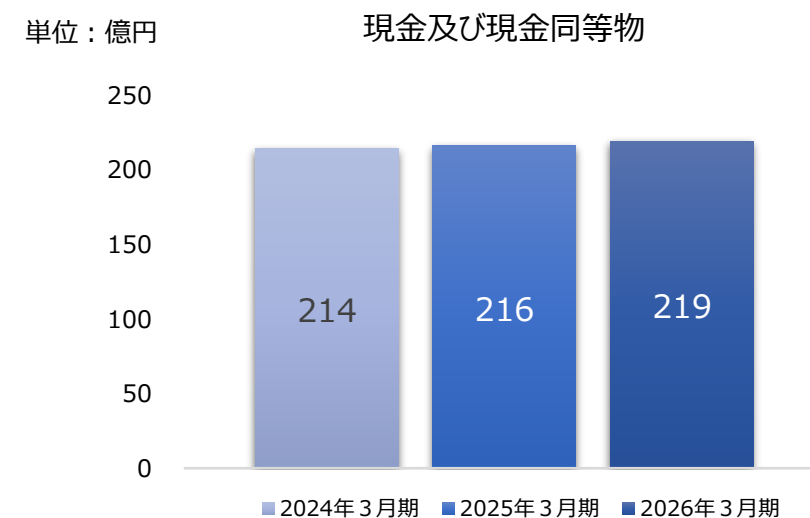


Dainichiseika

単位：億円



単位：億円



	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
債務償還年数 ^{※1}	2.8年	5.1年	2.1年
インタレスト・カバレッジ・レシオ ^{※2}	32.4	16.7	29.7

※1 債務償還年数 = 有利子負債 ÷ 営業CF

※2 インタレスト・カバレッジ・レシオ = 営業CF ÷ 支払利息

2027年3月期 連結業績予想前提

前提

- ✓ 中東情勢の影響は以下のようなものが見込まれるものの、現時点では合理的な算定が困難なため、2027年3月期の業績予想に現段階では未反映
- ✓ 今後の業績への具体的な影響については、判明した段階で速やかに開示
- ✓ 2026年5月15日付適時開示「事業構造改革の実施に関するお知らせ」に記載の
(1)事業ポートフォリオの見直し、(2)国内における生産・販売及び間接業務の効率化、事業所の再編等に関する施策等に伴う影響については未定

中東情勢の悪化により想定される影響と対応策

想定される主な内容	想定される影響	対応策
<ul style="list-style-type: none"> • 原材料等の調達制約 	2027年3月期第1四半期決算への影響は軽微と想定	<ul style="list-style-type: none"> • 調達先の分散や、代替品等のヘッジ策の推進 • 販売時期のずれ込みが発生することがあってもサプライチェーンの復旧後には着実に対応
<ul style="list-style-type: none"> • 原材料、ユーティリティ費用等の価格上昇（ナフサ価格を含む） 	サプライヤーからの情報をもとに影響額を試算中も現段階で合理的な算定は困難	<ul style="list-style-type: none"> • 原則として価格転嫁にてカバー • 高機能品シフトによる利益率、収益改善を図る
<ul style="list-style-type: none"> • 買い控え、販売先の稼働減、消費マインドの低下等による売上減少 	一定の影響の可能性は想定も現段階で合理的な算定は困難	—

2027年3月期 連結業績予想

単位：億円・切捨	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト	690	703	+12	+1.8%
ポリマー&コーティング マテリアル	241	244	+2	+1.1%
グラフィック&プリンティング マテリアル	310	318	+7	+2.4%
売上高	1,242	1,266	+23	+1.9%
カラー&ファンクショナル プロダクト	41	41	△0	△1.0%
ポリマー&コーティング マテリアル	25	31	+5	+19.8%
グラフィック&プリンティング マテリアル	8	11	+2	+28.8%
営業利益	76	84	+7	+10.4%
経常利益	84	95	+10	+11.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	81	66	△15	△18.5%
EBITDA※1	127	137	+10	+8.2%
1株当たり当期純利益※2	118.32円	96.69円	△21.63円	-
為替レート	\$150.20円	\$148.00円	2.20円 円高	-
ナフサ価格	65,200円	-	-	-

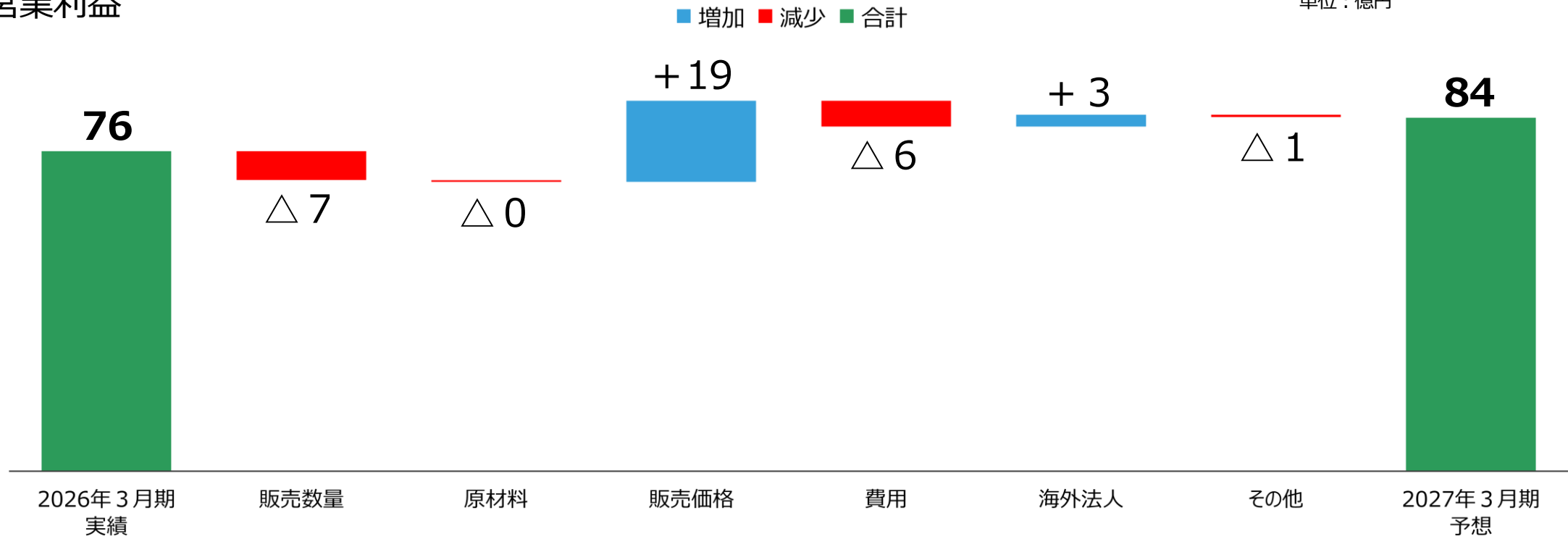
※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※2 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2027年3月期 連結業績予想 増減要因 (2026年3月期実績 vs 2027年3月期予想)

営業利益

単位：億円



株主還元①

配当（増配）

- 2026年3月期期末配当金
 - 2026年2月13日付適時開示済みの期末配当予想から普通配当金を12円増配
 - 1株当たり133円（普通配当118円＋特別配当15円）
- 2026年3月期年間配当金
 - 1株当たり220円（普通配当190円＋特別配当30円）

株式分割

- 目的
 - 当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より多くの投資家の皆さまが投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ること
- 比率
 - 普通株式1株につき4株の割合
- 効力発生日
 - 2026年4月1日（水）

	2026年2月13日 開示予想	2026年5月15日 開示修正予想	株式分割考慮後 (参考情報)
中間配当金（円）	87	87	21.75
期末配当金（円）	121	133	33.25
合計（円）	208	220	55



株主還元②

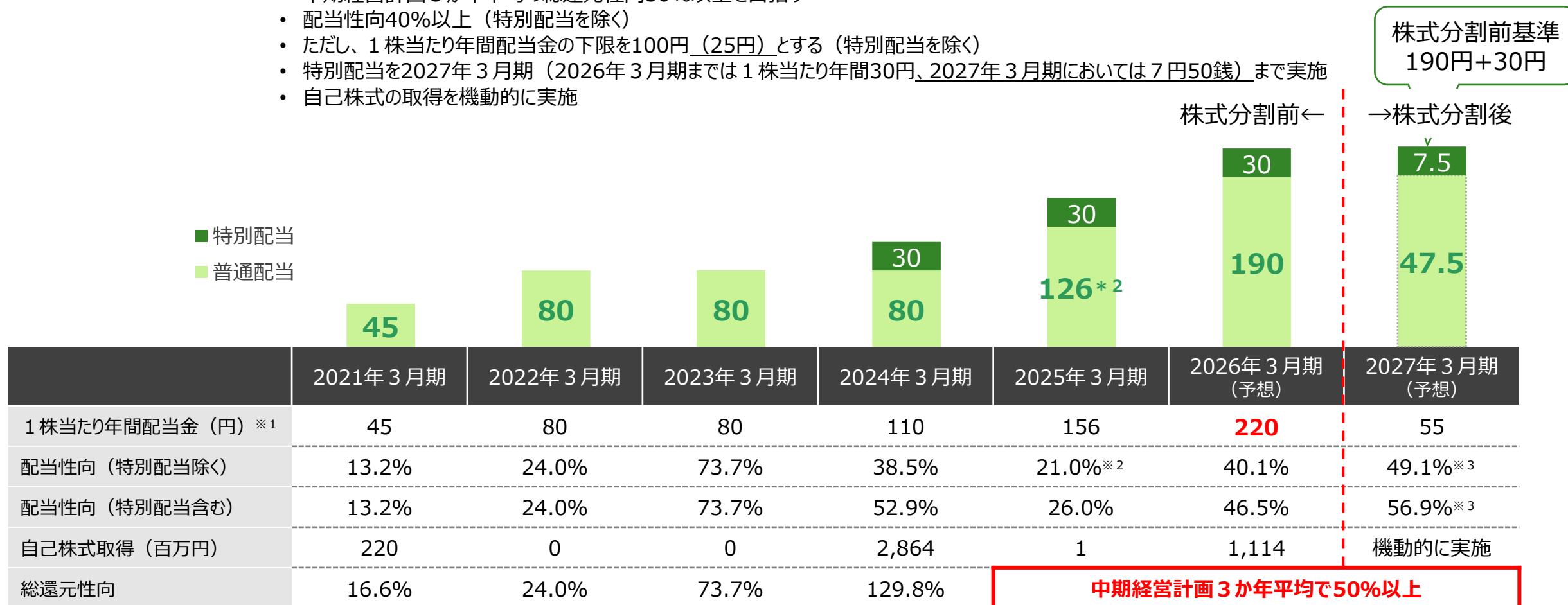
配当政策

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の観点から、将来の事業展開、経営基盤の強化並びに内部留保の充実等の事項を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

配当方針

■ 中期経営計画期間3か年（2027年3月期まで）の株主還元方針（下線は株式分割による影響を考慮したもの、実質的な変更は無し）

- 中期経営計画3か年平均の総還元性向50%以上を目指す
- 配当性向40%以上（特別配当を除く）
- ただし、1株当たり年間配当金の下限を100円（25円）とする（特別配当を除く）
- 特別配当を2027年3月期（2026年3月期までは1株当たり年間30円、2027年3月期においては7円50銭）まで実施
- 自己株式の取得を機動的に実施

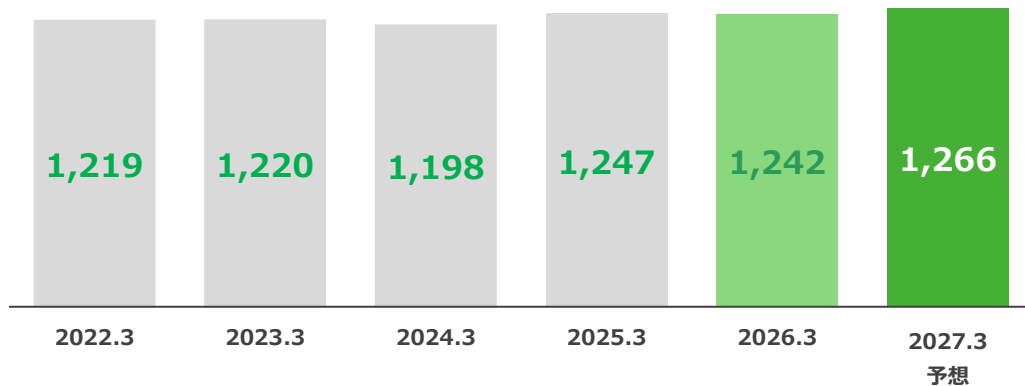


※1 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期以前については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

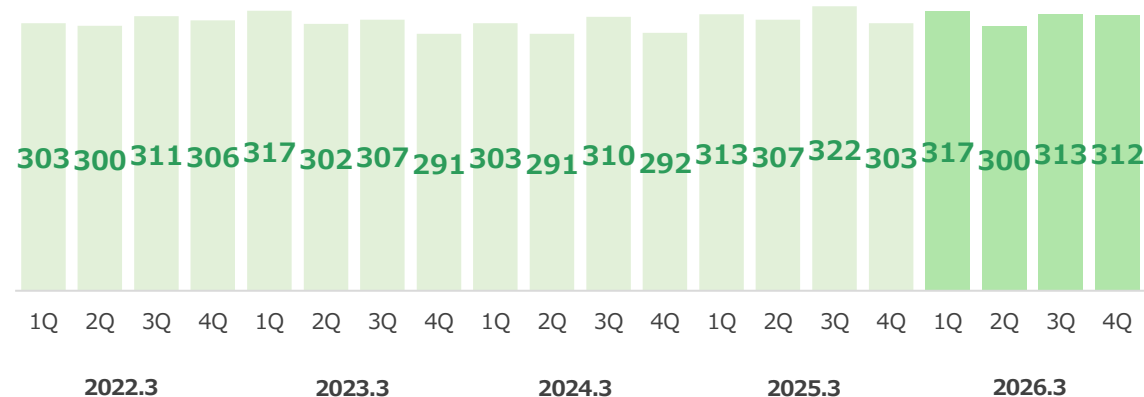
※2 2025年3月期の普通配当126円は、親会社株主に帰属する当期純利益から特別配当の原資である旧川口製造事業所売却益(法人税控除後)を控除した金額に対して配当性向45%相当額となります。

※3 2027年3月期の1株当たり当期純利益予想96.69円に対する配当性向見込みとなります。

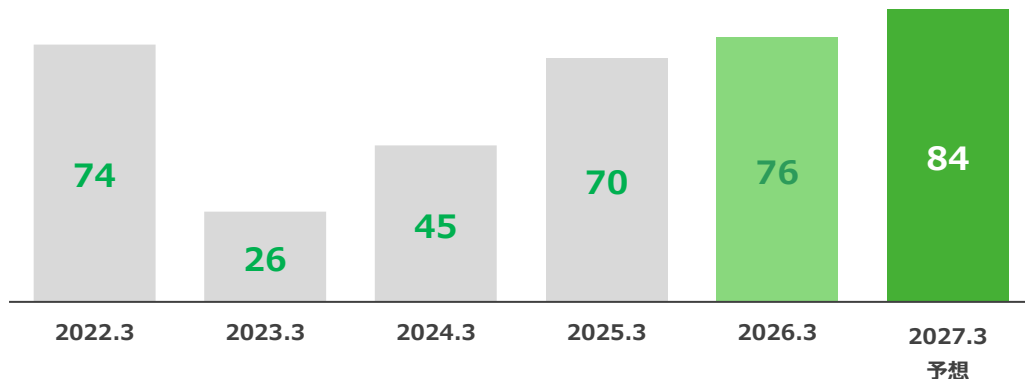
売上高・通期 (単位: 億円)



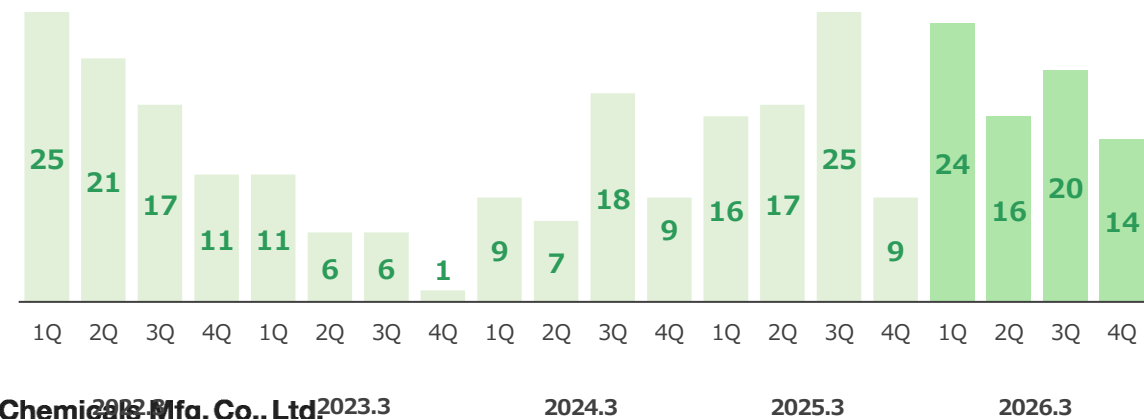
売上高・四半期 (単位: 億円)



営業利益・通期 (単位: 億円)



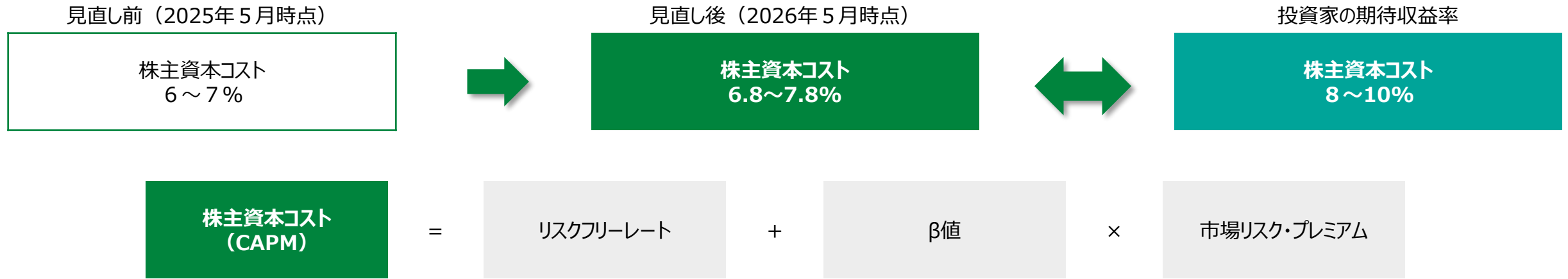
営業利益・四半期 (単位: 億円)



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について ①株主資本コストの見直し

株主資本コストの見直し

- ✓ 従来、当社は株主資本コストを6～7%（CAPMベース）で認識
- ✓ リスクフリーレートの上昇を反映し、投資家との対話を通じてリスク・プレミアムを見直した結果、**当社の株主資本コストを6.8～7.8%(CAPMベース)に見直し**
- ✓ 機関投資家との面談等でヒアリングした期待収益率は8～10%であることから、なおギャップが発生



株主資本コストの前提

リスクフリーレート	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 10年国債利回りを採用 ✓ 見直し前1.5%程度から2.3%程度に上昇（2026年3月末時点）
β値	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当社株式の流動性が低く、値が低位になる傾向 ✓ 業績回復、増配、株式分割の開示などによる当社株式の出来高の増加（年間約19%増加）により、見直し前から見直し後にかけて1に近似
市場リスク・プレミアム	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 6%以上を想定（ヒストリカル法） ✓ 市場金利の上昇などを加味



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について ②現状分析 (1/2)

現状認識

✓ 株主資本コスト（当社認識：CAPM6.8～7.8%）を上回るROEを継続的に達成できておらず、PBRが1倍に達していない

要因分析① 現状のROE

1. 当社ビジネスは、販売先業界が幅広いことが特徴であり、景気に左右されにくく安定的な業績を維持してきた
2. 近年は外部要因や一部販売先業界の動向により、力強さを欠いてきたが、2025年3月期以降、業績は回復傾向
3. 収益機会の拡大に繋がる新規分野への戦略投資や海外展開を進行中であり、これらの投資に加えて株主還元を見直し、ROEは改善傾向
4. HR戦略・DX推進も進捗しており、新人事制度の導入、従業員持株会向けRS（譲渡制限付株式）の付与、生成AIやノーコードツールの活用などにより業務効率化・競争力を強化

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高 ※1	1,571億円	1,674億円	1,703億円	1,551億円	1,384億円	1,219億円 (1,680億円)	1,220億円 (1,692億円)	1,198億円 (1,609億円)	1,247億円 (1,653億円)	1,242億円 (1,638億円)
営業利益	119億円	130億円	87億円	48億円	49億円	74億円	26億円	45億円	70億円	76億円
当期純利益	99億円	83億円	38億円	39億円	63億円	61億円	20億円	36億円	102億円	81億円
純資産額	884億円	970億円	960億円	956億円	1,036億円	1,104億円	1,143億円	1,191億円	1,304億円	1,412億円
自己資本比率	45.9%	47.3%	49.3%	50.1%	51.5%	55.1%	58.1%	59.9%	65.0%	67.5%
ROE	12.5%	9.2%	4.1%	4.2%	6.5%	5.9%	1.8%	3.2%	8.4%	6.1%
期末株価 ※2	941.25円	1,097.5円	755円	589.75円	617.75円	515円	445.75円	746.25円	751.25円	1,078円
PBR	0.80倍	0.85倍	0.59倍	0.46倍	0.44倍	0.35倍	0.29倍	0.44倍	0.40倍	0.53倍

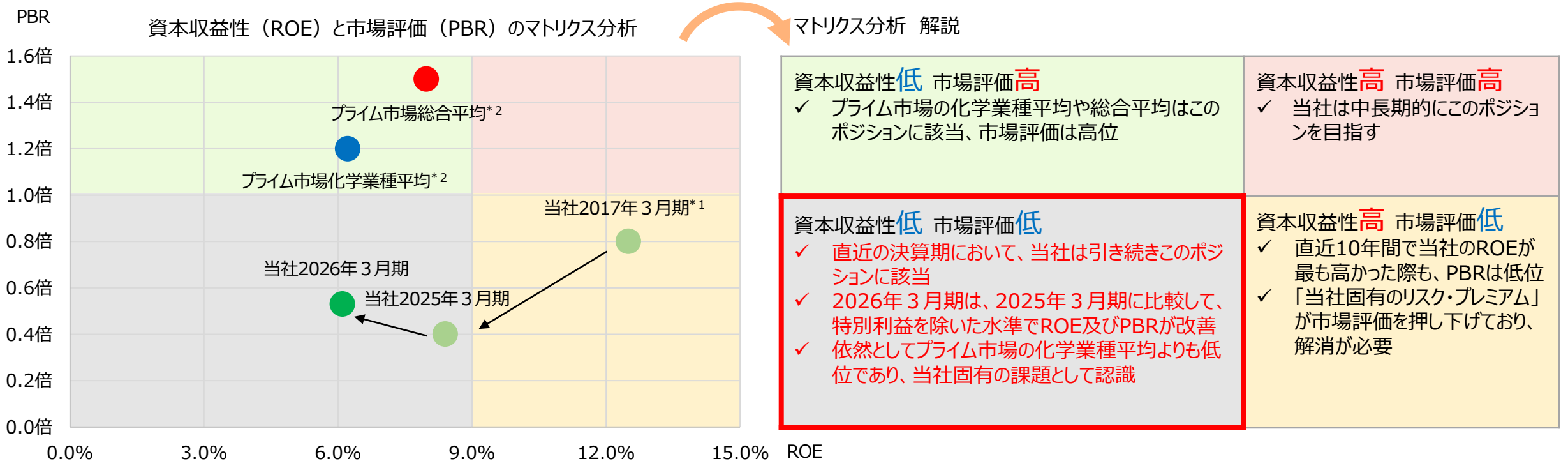
※1 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、適用後に売上高が平均400億円程度減少しているため、適用前の売上高を括弧書きで記載しております。

※2 2017年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。また、2026年4月1日付で、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2017年3月期の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定して、期末株価を記載しております。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について ②現状分析 (2/2)

要因分析② 現状の市場評価

5. 株主資本コストを上回るROEを達成していた時期（2017年3月期～2018年3月期）もPBRは1倍を下回り、「当社固有のリスク・プレミアム」が存在
- 当社認識の株主資本コストは6.8～7.8%（CAPM）である一方、機関投資家とのIR面談でヒアリングした期待収益率は8～10%であり、ギャップが生じている
 - 投資家の視点から見た「当社固有のリスク・プレミアム」として、いただいた主なご意見は以下の通り
 - ① 当社製品の販売先業界が多岐に渡り、安定的な業績を維持している一方、成長ドライバーとなる製品が分かりにくいいため、将来の収益拡大機会が見極めづらい
 - ② 自己資本比率が高く、自己資本残高に見合った収益性・効率性の向上について目標達成（ROE 9%）に向けた道筋が不透明



*1 直近10年間で当社ROE最高値

*2 (出典) 東京証券取引所「規模別・業種別PER・PBR (連結・単体) 一覧」2026年3月末単純平均データ(連結)より当社作成

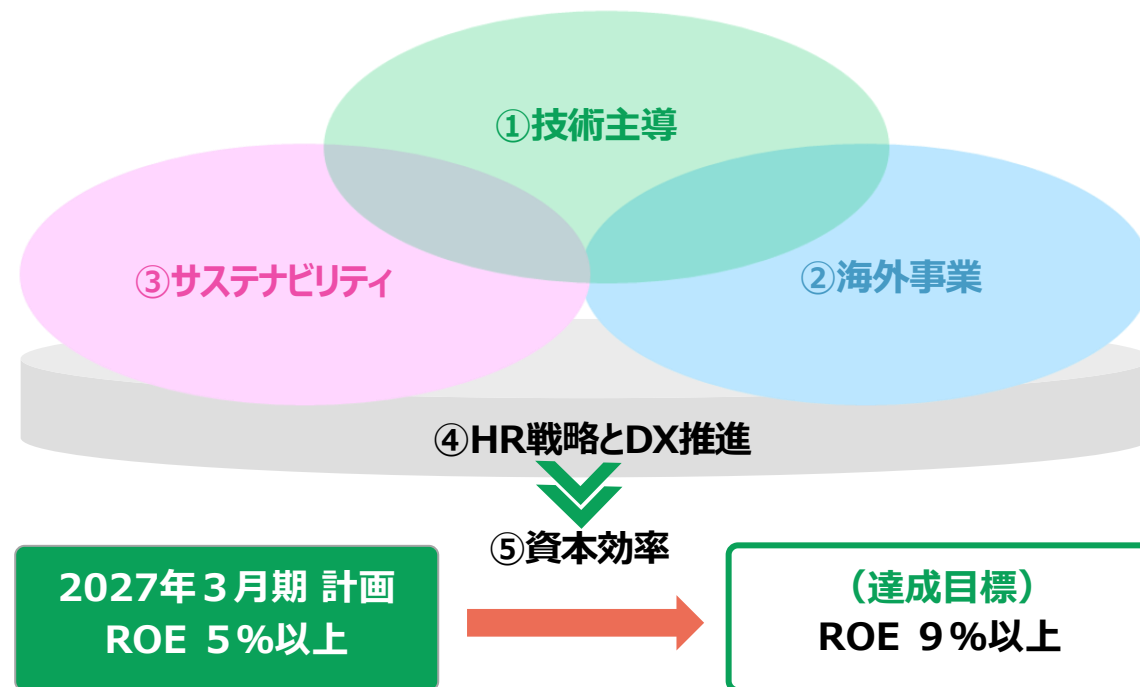
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について ③中期経営計画の進捗

株主資本コストを上回るROEの継続的な実現とPBR 1倍以上の達成に向けて

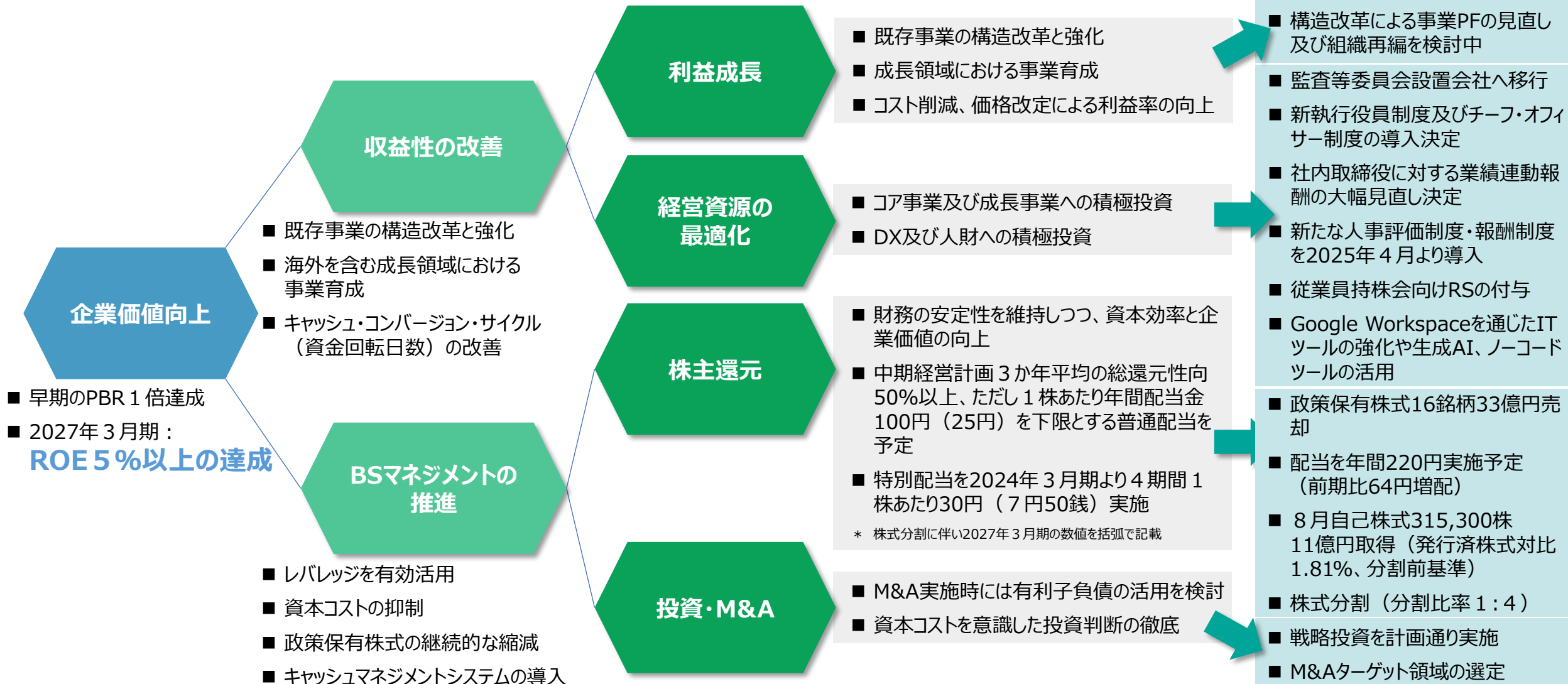
短期的	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中期経営計画で掲げた各種戦略・施策に加え、本資料で掲げる各種戦略・施策を着実に実行することで、中期経営計画最終年度にROE 5%以上を達成する ✓ 中期経営計画3か年平均で総還元性向50%以上を目指し、更なる株主還元の強化に努める
中長期的	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地政学リスク、中国経済の低迷、原材料動向など事業環境に不透明感が漂う中、外部要因に左右されにくい事業ポートフォリオを構築するため、M&Aを含む成長投資や戦略投資、構造改革を引き続き推し進めるほか、配当還元や自己株式の取得を積極的に行い、ROE 9%以上を目指す

グループ数値目標

	2026年3月期 当初予想→実績	2027年3月期 中計当初予想→今期予想
売上高	1,273億円→1,242億円	1,300億円→1,266億円
営業利益	72億円→76億円	78億円→84億円
経常利益	82億円→84億円	84億円→95億円
当期純利益	61億円→81億円	58億円→66億円
ROE	6.1%	5%以上



当社の財務健全性を勘案したうえで、資本収益性の改善を意識した経営を実行

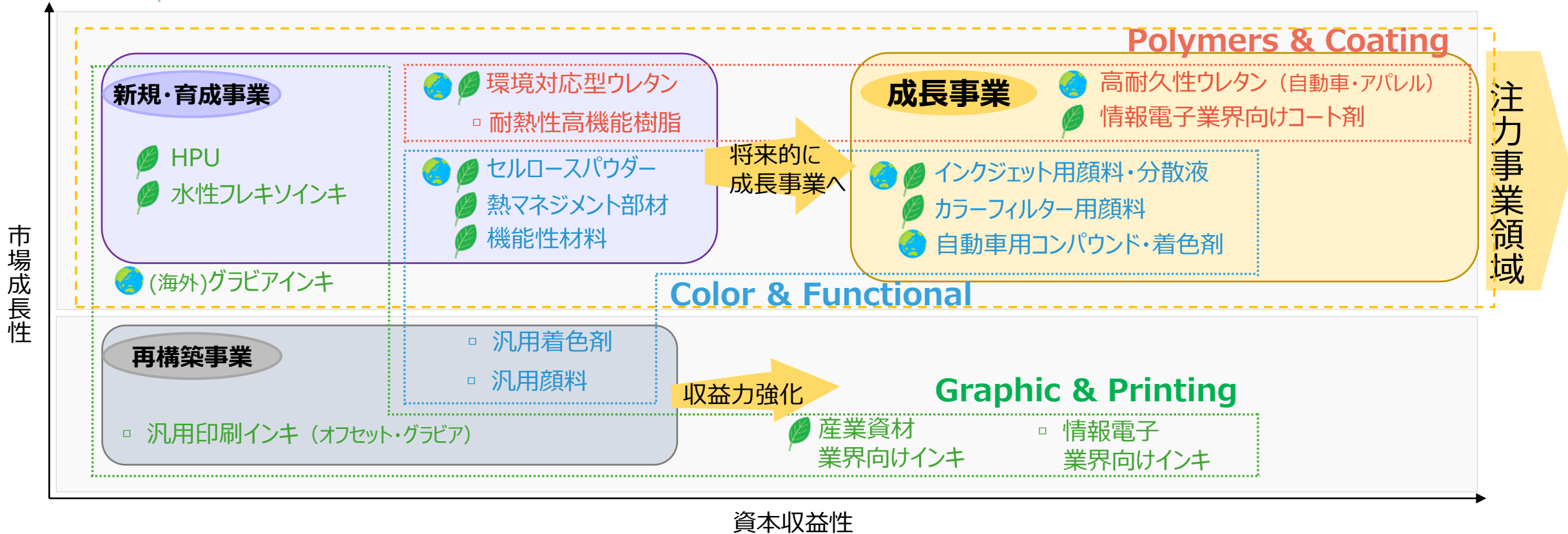




資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について ⑤事業ポートフォリオと各セグメントの位置づけ

- ✓ 2026年5月15日開催の取締役会において、更なる企業価値の向上に向けた収益力と成長力の改善を目的として、「事業ポートフォリオの見直し等の全社的な事業構造改革」を実施することについて決議
- ✓ 具体的な内容については、2026年秋頃の公表を予定

- 海外展開強化製品
- サステナビリティ貢献製品



財務戦略

- ✓ 資産・資本の効率化により、株主還元、成長・設備投資へのキャッシュ創出、同時にROE/ROA向上・PBR向上（株主資本コスト6.8～7.8%を想定）
- ✓ レバレッジの活用等により、資本コストを抑制

BSマネジメントの推進

● 政策保有株式

- ・中期経営計画目標：2024年3月末残高から15%以上の削減
- ・2026年3月期実績：2024年3月末残高から約9%増加（株価上昇のため）※
- ※2024年3月末時価ベースでは約14%削減

● 現預金

- ・キャッシュマネジメントシステム導入
- ・国内グループ資金の効率化達成

資本効率化策

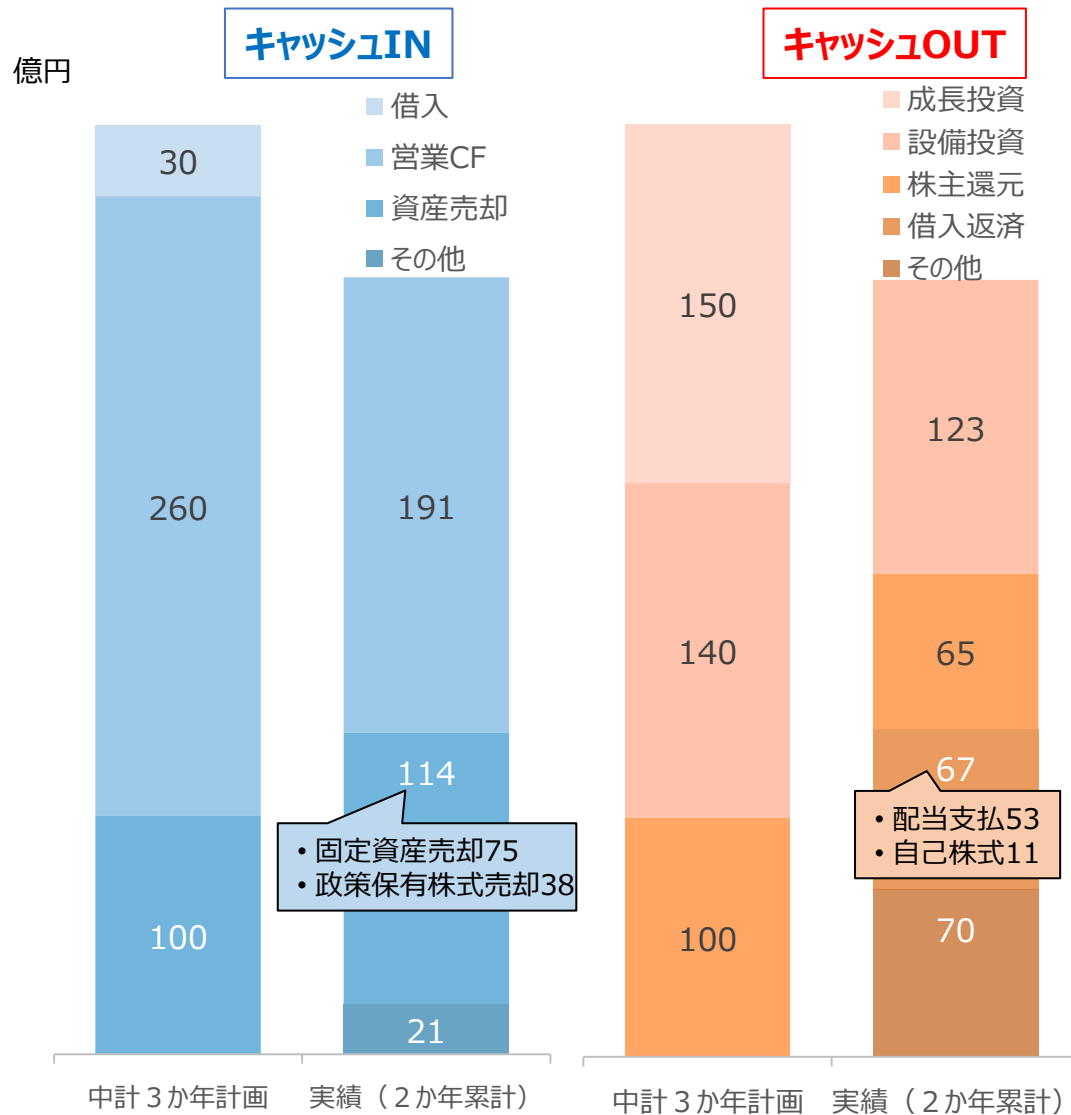
● キャッシュ・コンバージョン・サイクル

- ・売掛債権流動化等の実施を検討中

● その他資産効率の引き上げ

- ・川口製造事業所移転に伴う資産売却（売却益77億円）
- ・2024年8月売却完了

当中計期間中のキャッシュ・アロケーション（3か年累計）計画と2か年累計



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について ⑦株主・投資家との対話

会社説明会・決算説明会		
開催日	種類	参加機関投資家等
2025年6月	決算説明会	国内投資家 3社 証券会社 4社 その他 9社
2025年12月	第2四半期決算説明会	国内投資家 3社 証券会社 11社 その他 7社
2026年1月	個人投資家向け説明会	個人投資家 139名 (前年度58名)



個別機関投資家等との面談状況		
実施期間	実施回数 (延べ)	参加機関投資家数 (延べ)
2025年4月～ 2026年3月まで	24回	海外投資家 5社 国内投資家 18社 証券会社 1社

個人投資家説明会 参加者数増加要因

- ✓ 2025年12月実施の株主アンケートにて本説明会に関する設問を用意
- ✓ 案内状や告知動画の事前配信
- ✓ 過去2回の開催実績

BtoBメーカーである当社は、個人投資家の認知度向上を課題として認識し、投資家層の拡大、流動性の向上に向けて引き続き取り組んでまいります。

対話時にいただいた主なご意見	当社の対応
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業ポートフォリオの見直し ✓ 安定収益の確保策 (収益改善策含む) の早期実行 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 構造改革 (事業ポートフォリオの見直し及び組織再編) により原資を創出、戦略投資やM&A等の投資を実行
<ul style="list-style-type: none"> ✓ PBR改善策についての実行強化 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 株主還元方針を現中計期間中の3ヶ年平均で総還元性向50%以上、配当性向40%以上に見直し (上方修正) ➢ 中期経営計画ROE目標値を5%以上に上方修正
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 販売価格改定の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 2026年3月期 販売価格改定による営業利益増加額15億円 * P4「2026年3月期 連結決算増減要因」参照

当社のIR体制

- ✓ IR担当取締役もしくは役付執行役員を選任するとともに、社長室、経理・財務本部、事業管理本部、総務・人事本部、広報本部、CSR・ESG推進本部等が連携してIR活動を積極的に実施
- ✓ 株主・投資家のご意見は取締役会などにおいて当社経営層に共有



本資料の取り扱いについて

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性等がありますことを、予めご了承ください。
- 本資料に掲載されている情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。